



登別市本庁舎
建設基本設計書



市は、市役所本庁舎を旧市営陸上競技場の敷地に建て替える『市役所本庁舎建設事業』を進めており、新庁舎建設工事の基礎となる基本設計書の作成を進めてきました。地域や団体との意見交換や地区懇談会、パブリックコメントなどの意見を踏まえ、新庁舎の基本方針や機能、建物の配置、構造、各階のレイアウトなどをまとめた『登別市本庁舎建設基本設計書』を策定しました。広報のぼりべつ5月号と6月号で6つの基本方針の概要についてお知らせします。

基本方針 3

将来を見据えた機能的で使いやすい庁舎

- ・新しい庁舎は、環境対策グループを除き、今まで分散していた庁舎機能を集約した効率的でコンパクトな庁舎とします。
- ・構造壁のない空間とすることで将来の様々な活用に対応できる庁舎とします。
- ・会議室や収納等の業務を支援する機能を執務室付近に配置し、円滑な業務を行うことができる庁舎とします。
- ・窓口は、来庁者を移動させず、職員が移動するワンストップによる対応を目指します。



▲窓口と市民ホール

現在の市役所庁舎跡地の利活用について

中央地区のまちづくりの根幹となるコンセプト（目指すべき方向性）を決めるため、ワーキンググループを中心に、学生委員会とも連携をしながら協議を進めています。

3月31日には、約30年前に中央地区で登別中央ショッピングセンターアーニス^{なりたゆきひさ}を建設するなど、現在に至るまちづくりに携わってきた、成田幸久さん（富士橋大通り商店街振興組合元理事長）を講師に招き、当時のまちづくりの経緯や体験談など貴重な話を聞きました。これらの話を参考に、引き続きコンセプトの協議を進めていきたいと考えています。

協議内容については、市公式ウェブサイトに掲載しています。



市公式
ウェブサイト



▲成田さんによる講演の様子

新しい本庁舎のお知らせ

問い合わせ 本庁舎整備推進グループ (☎571098)

市公式
ウェブサイト



▲新庁舎の外観のイメージ

▼公園の中にあるような新庁舎のイメージ

基本方針 1

海と山を感じる公園と一体となった庁舎

- ・豊かな自然を感じながら、歩いて楽しいまちづくりのシンボルとなるような庁舎を目指します
- ・かつて陸上競技場であった地形を活かした、ランドスケープと一体となった庁舎をつくります
- ・公園の中に市役所があるような、誰もが気軽に集える開放的な庁舎を目指します



基本方針 2

市民の新しい居場所となる庁舎

- ・自然光があふれ、市民の憩いの場所となる「ひかりのみち」をつくります。
- ・市民の憩いの場や協働のためのスペースとして、ひろばに面した、市民ホールや会議室を設けます。
- ・1階市民ホールはひろばと一体利用できる空間とし、夜間や閉庁日にも市民が利用できるよう検討します。
- ・誰もが使うことのできるトイレや授乳室、学習スペースを設けることで、開かれた市民の居場所をつくります。
- ・1階屋上には、海を望める展望テラスを設けます。
- ・議場・ホールを1階に配置し、市民開放など多目的に利用できるようにします。

カフェスペースに
面した市民ひろば



海を眺められる
屋上テラス

